

# 市立幼稚園を廃止、次は保育所民営化

## 市立保育所の民営化中止を! 久松議員が質問

土浦市は市立幼稚園を廃止する条例案を6月市議会に提出。議会は保護者の多数が反対の声を上げているにもかかわらず、これを可決しました。日本共産党は条例案に反対しました。市は今度は市立保育所を民間に売却する計画を進めています。市の売却理由は筋が通ったものではなく、日本共産党は市民の世論で中止させようと呼びかけています。



久松 猛 市議会議員

### 市立幼稚園廃止条例を可決

土浦市は6月議会に市立幼稚園を廃止する条例案を提出し、議会はこれを賛成多数で承認しました。都和幼稚園、大岩田幼稚園、第二幼稚園を平成30年3月に廃止し、34年3月には残る土浦幼稚園と新治幼稚園も廃止するというものです。

幼稚園の廃止はやめてほしいと保護者が立ち上がり、7,000人を超える署名を議会に提出しました。しかし、議会は不採択とはしなかったものの、「気持ちはわかる」という程度の趣旨採択にとどめました。市は30年3月廃止予定の3園の来年度の園児募集は5歳児だけとしています。

### 市立保育所も民間に売却計画

市は幼稚園に続いて11か所の市立保育所を平成28年度から37年度までの10年間に民間に売り渡す計画を進めています。平成32年度までの5年間で新生・東崎・都和・新川・桜川・竹ノ入の6保育所を、残りの荒川沖・霞ヶ岡・天川・神立の各保育所は37年度までに民間に売り渡すという計画です。今年度は新川保育所と竹ノ入保育所の「買い手」を公募しています。久松猛議員は、これは児童福祉法24条が規定する地方公共団体の「保育義務」を事実上放棄するものだと追求しました。



民間に売却されようとしている竹ノ入保育所(西根南三丁目)

### 公立保育所調査研究書と矛盾

市は民営化実施計画を策定しましたが、その前に土浦市公立保育所の運営のあり方検討委員会を立ち上げ、平成27年3月に調査研究報告書をまとめています。その報告書では公立保育所の役割について「市内のすべての保育施設のモデル(基準)となることが重要だ。市内の保育施設でこの基準を下回る施設がある場合には、必要な基準に達するよう指導していくことが大事だ」と述べています。久松議員は、この基準となる公立保育所を全部民営化するのは全く筋が通らないと質しました。市は民営化の理由の一つに定員割れがあるといっています。しかし、土浦市立保育所に入所している子どもの中には、多動など他の子どもと比べて手のかかる子が70人以上います。例えば3歳児の場合、一人の保育士で20人の子どもというのが国の基準ですが、20人の中に多動など手のかかる子が何人かいる場合、基準の人数以下にしなければゆとりのある保育はできません。定員割れの理由の中にはこのような理由が大きな割

合を占めています。一方、私立保育園で定員割れは少なく、似たような比較的手のかかる子が公立と同じぐらいいると推測されますが、経営上の理由から定員より少なく抑えるということは難しいという状況でしょう。子どもにとってどちらがより良い保育環境かははっきりしています。

### 国の補助はなくなっていない

市は民営化の別の理由として財政問題を挙げています。報告書や実施計画書には「保育にかかる費用は平成16年度から国・県の負担が廃止された。保育の運営経費や施設の整備費用は保育料収入のほか、市の一般財源で賄われている」と書き、国からの補助は一切なくなったかのように描いています。しかし、これは事実ではありません。平成16年度からの国の手当ては補助金から地方交付税に算入する「一般財源化」と変わったのです。28年度予算では保育所運営経費の分として約3億円が地方交付税に上乗せされています。

今、待機児童の問題や保育士の待遇改善など保育が注目されているときに、大事な公立保育所を全部民間に売り渡すなどは言語道断です。市民の世論の力で中止させましょう。

**子育てしやすいまちづくりに逆行!**

日本共産党土浦市議団

無料法律相談のお知らせ

毎月最終土曜日 午後1時半から

(亀城プラザ又は市民会館会議室)

※ 会場は変更になることがありますので、予約の際に確かめてください。

◎ 相談時間は30分程度です。要領よく相談して下さい。

◎ 完全予約制です。必ず予約してください。

◎ 予約・問い合わせ先

久松 猛 822-6494 井上 圭一 886-4642

共産党事務所 821-5778

土浦民報  
2016年10月・11月号

発行:日本共産党土浦市議団 ◆日本共産党の見解を紹介します。

■久松 猛 木田余東台 5-3-15 Tel 822-6494 Fax 822-7390 E-mail take19@emobile.ne.jp

■井上 圭一 右碓 2945-102(相談所) Tel 886-4642 Fax 886-4643 E-mail himawariclub@poem.ocn.ne.jp